

## デザインコンセプト

護岸の整備によって、この場所が安全で魅力的な空間になるために、4つのデザインコンセプトを設定します。

### ●安全・安心の視点

#### 災害から暮らしを守る

災害から人々の暮らしを守ることを第一に考えた空間とします



台風時の様子（令和元年8月：満潮3時間前）



台風時の様子（令和元年8月：満潮時）

### ●過去の視点

#### 過去の価値を受け継ぐ

民間で造った特徴的な護岸や亀甲状石積など、歴史的・文化的に価値のあるものを可能な限り見えるように保存し、その価値を感じられる空間を目指します



民間で造った特徴的な護岸



亀甲状石積

### ●現在の視点

#### 今の暮らしを守る

日常の暮らしのあり方や風景をそのまま引き継ぐことのできる空間を目指します



祭りにおける禊の様子



渡守神社



人々の暮らしの風景

### ●未来の視点

#### 今後の利用につなげる

町とつながり、地元の人々が散策し、たたずみ、利用できる魅力的な空間を目指します



歴史的な護岸を残しつつ、人々が楽しめる水辺を創出した例（宮崎県日南市油津）

# 具体的方針

## ●これまでの議論で設定された護岸形状・デザイン案の12の配慮事項の確認

### ○護岸部

- 1 既存護岸と変わらない護岸景
- 2 連続する護岸が単調にならない形状
- 3 海へのアクセス機能・道路からの海への眺望
- 4 風の通り抜けの機能
- 5 既存護岸の日常利用

### ○砂浜部

- 6 海からの眺望における砂浜の視認の確保
- 7 浜の祭事利用が継続できる機能の確保
- 8 浜と渡守神社や交流の場との連続性
- 9 漁業利用の機能

### ○歴史的港湾施設

- 10 焚場, 亀甲状石積は, 改変せず保存

### ○海から見た景観

- 11 海からの眺望における家並みの視認の確保
- 12 落ち着いた色調に違和感を与えないデザイン

### ※「1 既存護岸と変わらない護岸景」について

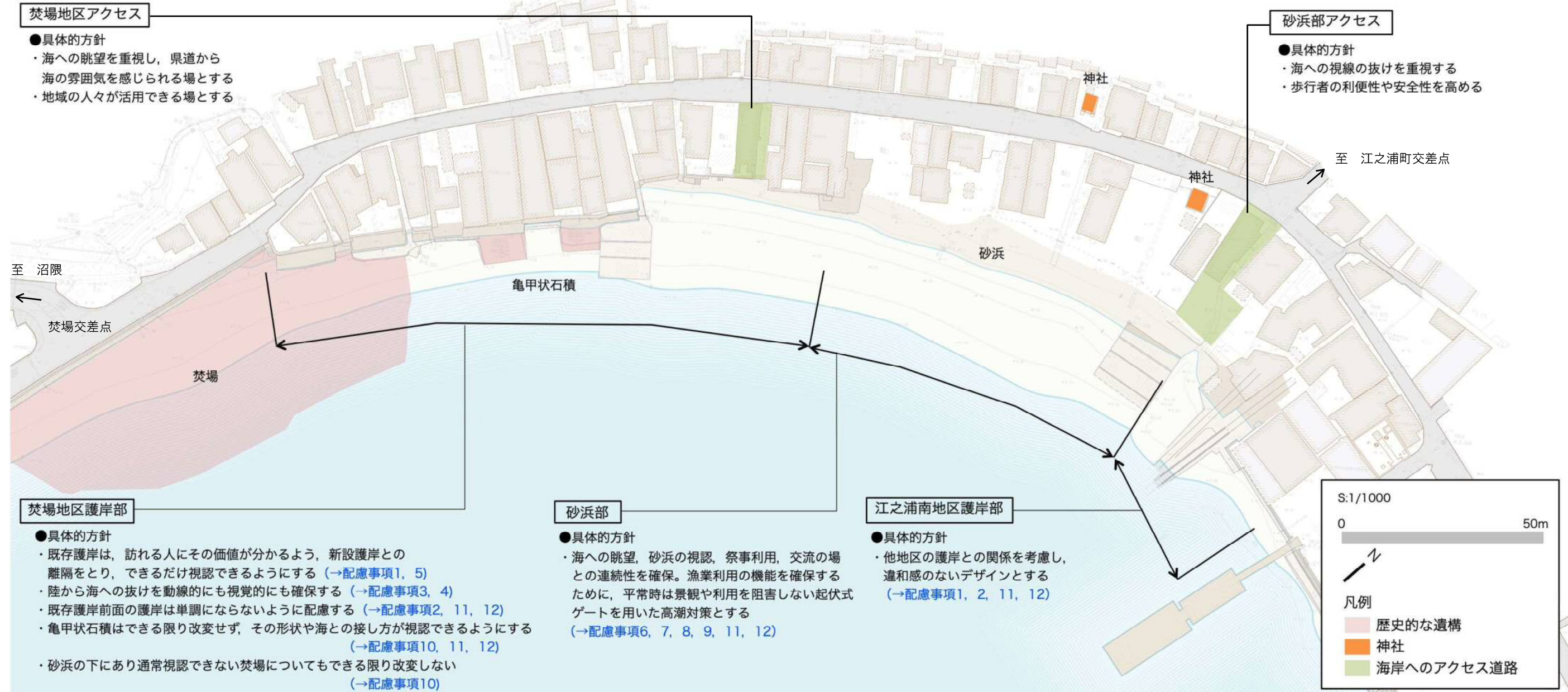
- ・「変わらない護岸景」とは背後の護岸そっくりなレプリカを造るということではなく、**目立たせたくない**という意図である。
- ・海から見た景観が後ろの**町並みに溶け込んで**いること。
- ・**古い護岸を尊重し、違和感がない**ようにし、新しいものが**自己主張しない**ようにする。

新しい護岸が**背後の町並みに調和し、自己主張しない**ようにする

- 具体的方針
  - ・周辺で用いられているものと同じ色調の石材を用いる
  - ・護岸自体が**適度に分節**されている  
(機能上の必要性を踏まえて適度に分節)

## ●今回設定した各部の具体的方針

これまでに議論されてきた配慮事項を基に、デザインコンセプトを実現するための具体的方針を各区分ごとに設定する。



※平成28年2月時点での地図を基に作成